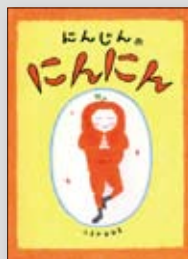


新刊案内



「きみはうみ」

西加奈子



「にんじんのにんにん」

ふるやかおる

異世界の書 幻想領国地誌集成 -- ウンベルト・エーコ
幸福の構造 持続する幸福感と幸せな社会づくり -- 島井哲志
日本兵捕虜はシルクロードにオペラハウスを建てた -- 嶋信彦
訳あり物件の見抜き方 知られざる実態から回避法・交渉術まで ----- 南野真宏

つくろ
お繕いの発想法 ----- こにしみえこ
信州山歩き地図「北信編・東信編」 ----- 中嶋豊
桃山的美濃古陶 古田織部の美 ----- 西村克也
世界の刀剣歴史図鑑 -- ハービー J.S.ウィザーズ



「雪山登山」

この頃は過ごしやすいい陽気となり、登山を楽しむ方も多いかと思えます。そんな中でも「楽しむのは夏山だけ」という方がほとんどではないでしょうか。雪山は夏山と比べたくさんの危険があり、登山者の中でも少し敷居の高いものとなっているようです。このあまり一般的には知られていない雪山登山、どのような危険や楽しみ方があるのでしょうか。今回はそんな雪山登山に関係した本をご紹介します。

アルバート・フレデリック・ママリ『アルプス・コーカサス登攀記』。19世紀後半、おおむね世界中の高所登山が果たされた頃、登山の楽しさとは何かを説いた山の本の名著。「登山がもたらす喜びと罰について」は名文です。

ジョン・クラカワー『空へ エヴェレストの悲劇はなぜ起きたか』。1996年の5月にエヴェレストで起きた大量遭難事故を扱った一冊。一部の登山者のみ登ることの許されたエヴェレストは、お金さえあれば誰でも登ることのできる山へと変貌していきます。

山と溪谷社ワンダーフォーゲル編集部『雪山入門』。5月の残雪期は、実は雪山デビューに適した時期です。ストイックに厳しいフィールドを目指すのではなく、雪山の景色を楽しみながら、無理なく安全に歩けるようになるための基本のノウハウを解説する一冊です。

その他、雑誌『山と溪谷』もありますので、ぜひ参考にして下さい。

6月の休館日

6日(月)、13日(月)、20日(月)、24日(金)、27日(月)

開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時
土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時

お知らせ

図書館東玄関に図書返却ポストが設置してありますので、開館時間外や休館日に本を返却する際にご利用ください。

ただし、大型絵本や図鑑などの大きくて重い本、CD、DVDなど壊れやすい資料や、相互貸借を用いて別の図書館から貸出を行った資料は、破損防止のため開館中にカウンターへ返却していただくようお願いします。